

学会発表における利益相反開示例 - 1

利益相反開示

演題名: ウイルス学会における利益相反管理と開示について

第63回 日本ウイルス学会学術集会
2015年 11月22日

筆頭発表者: 病毒太郎

演題発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません

日本ウイルス学会利益相反指針に規定された過去1年間の「申告・開示すべき事項」に該当する事項がない場合。
発表は英語でも、COI開示は日本語でOK。



COI Disclosure

Title: COI disclosure policy of the Japanese Society for Virology

The 63th Annual Meeting of the Japanese Society for Virology
22 November, 2015

Taro Virus (NIID)

I have no potential conflicts of interest in relation to this presentation



学会発表における利益相反開示例 - 3

利益相反開示

演題名: ウイルス学会における利益相反管理と開示について

第63回 日本ウイルス学会学術集会 2015年 11月22日

筆頭発表者: 病毒太郎

本演題発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業として;

1. ○○○株式会社からの特許権使用料 (病毒太郎)
2. 一般財団法人○○○からの講演料 (病毒太郎)
3. 「×××」誌原稿料 (○○○株式会社) (病毒太郎)
4. △△△株式会社株式売却益 (病毒花子; 配偶者)
5. 一般財団法人○○○から×大学への奨学寄付金 (病毒太郎 所属)
6. 共同発表者△△△は、○○○株式会社所属 (併任)

日本ウイルス学会利益相反指針に規定された「申告・開示すべき事項」に該当する事項がある場合、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、産学連携研究との相手先との関係について、過去1年間における利益相反状態を開示する。共同発表者(非学会員も含む)に産学連携研究の相手先の正規職員が含まれる場合、所属を明示する。